

# 企業OB 竹原の福祉を担う

～社会的課題解決プロジェクト「特命チーム」の取り組みから（第6回）～

本会「特命チーム」（社会的課題解決プロジェクト「特命チーム」）推進事業の取り組みをシリーズでお届けする第6弾!!

今回は、「人材確保班」が取材した福祉施設と地元企業とのつながりを紹介します。

竹原市忠海地区にある知的障害者施設「中国芸南学園」を訪問し、この施設で働くかかれている地元企業OBである3人の男性にお会いしました。

竹原市周辺地域からボランティア活動情報を入手し、総務から社内発信、とりまとめを行っています。平成21年からは、ポイント制度を導入。ボランティア活動をすると半日で1P、1日で2Pを付与し、10Pごとに表彰されます。他に「ボランティア休暇制度」もあります。

◆社員のボランティア活動を応援◆  
竹原市周辺地域からボランティア活動情報を入手し、総務から社内発信、とりまとめを行っています。平成21年からは、ポイント制度を導入。ボランティア活動をすると半日で1P、1日で2Pを付与し、10Pごとに表彰されます。他に「ボランティア休暇制度」もあります。

ボランティアは、あくまでも社員一人ひとりの意思によるものなので、会社はそのバックアップをしています。ボランティア情報を発信するだけでなく、社内報で参加者の体験談を知らせています。自主的な取り組みをしている社員の声を載せることで、ほかの社員への活動にもつながっています。

（総務部総務グループ 奥川洋二チーフ）



町内には、顔見知りの人が多く、地域とのつながりは今後も大切にしていかなければならぬと感じています。会社を退職したOBが地域の行事や福祉施設などで活動、活躍している様子を耳にすると、とても誇らしく、現役社員にとっても励みになりますね。

（総務部広報企画 田中道彦マネージャー）



アオハタ株の取り組みは、「社会・環境報告書2014」  
[http://www.aohata.co.jp/ci001\\_company/measures/environment.html](http://www.aohata.co.jp/ci001_company/measures/environment.html)  
をご覧ください。

◆企業市民としての社会貢献◆  
地域あつての企業」という思いで企業活動や地域活動を創り出されていることを感じました。地元を愛することで、愛される一現役社員の活動もしかり、退職後の社員も企業理念に通ずる地域での活動を楽しむ、竹原市社協の「地域の達人登録」やボランティアセンターへの活動にエントリーされると、地域で人つながりの財がさらに厚みを増しそうです。

問合せ先  
広島県社会福祉協議会 人材研修課  
☎ 082-254-3415 (担当:崎本)  
広島県社会福祉協議会 企画課  
☎ 082-254-3412 (担当:平井)

後日、ジャムで有名な地元企業の「アヲハタ株式会社」を訪問して、地域社会への関わりや企業としての社会貢献活動についてお伺いしました。

眼前に瀬戸内の多島美を眺められるアヲハタ株式会社は、JR忠海駅そばにあります。社訓「正直・信用・和」をもとに、社員の行動規範のひとつに「地域社会との共生」が挙げられています。地域の構成員としてどうかかわるかその取り組みをお聞きしました。

## ◆アヲハタ株式会社の紹介◆

昭和7年、みかん缶詰とオレンジママレードなどのジャム類の製造を目的として、広島県竹原市忠海で創業。

事業内容は、ジャム類、調理食品類、フルーツ加工品他の製造および販売。グループの従業員は約400人。

## ◆OBの活動◆

昭和49年からOB会を組織。現在会員が約260人。

OBのなかには、地元の地域活動への参画や施設・事業所への就業をしている人もいます。



思慮深くインタビューに応える水摩さん（左側）、手振りを交えて熱く語る木下さん（右側）



笑顔で丁寧に応える小嶋さん（左側）、温かくインタビューを見守る森岡施設長（右側）

※「ぶっちゃん農園」家庭菜園・グループ菜園、学習菜園、ふれあい広場等で構成。ボランティア活動で運営する等地域貢献型農園

ボランティア団体「エデンの海」の会長を務める長崎出身でアヲハタ株OBの水摩さんは、高齢者の外出を企画し、「中国芸南学園」の夏祭りや近くの身体障害者施設「聖恵会」の文化祭などの協力をはじめ、普段は地域の清掃活動等を行っています。この関わりで「中国芸南学園」のパート募集を知り、「エデンの海」の会員でもある木下さんと一緒に、利用者の送迎と管理当直を交代で行っています。時間帯は15時30分～20時までの4時間半。水摩さんは、毎日ウォーキング2万歩を目指す健脚の持ち主であります。

定年後、管理栄養士として趣味の料理に腕を振るっていた福岡出身でアヲハタ株OBの小嶋さん、OBつながりで水摩さんから声かけがありました。毎週日曜日から金曜日までの8時30分から約7時間、利用者と一緒に小松菜の水耕栽培の補助をしています。 「中国芸南学園」の森岡施設長によると、パート職が35人いて、全体の約3割を占めているところです。このように地域の人財として、企業OBを施設・事業所や地域活動につなぎ、組み合わせていく市町域の実情に応じた取り組みが大切になります。

と。他に男性の企業OBは7人が雇用され、朝食時の食事介助も担当しています。

定年はなく、辞める時は次の人（企業OB）を紹介することになります。ちなみに、採用条件はいわゆる「いい人」。OBからの紹介であれば、確かにどのこと。施設側も、働き手の勤務形態や様々な要望に応える努力を行い、職員との信頼関係づくりに努めています。

最後に、福祉施設で働いてみた感想を聞いてみました。「たまにピックリすることもあるが、施設紹介することになつてゐるそうです。ちなみに、採用条件はいわゆる「いい人」。OBからの紹介であれば、確かにどのこと。施設側も、働き手の勤務形態や様々な要望に応える努力を行い、職員との信頼関係づくりに努めています。